

リコール届出一覧表

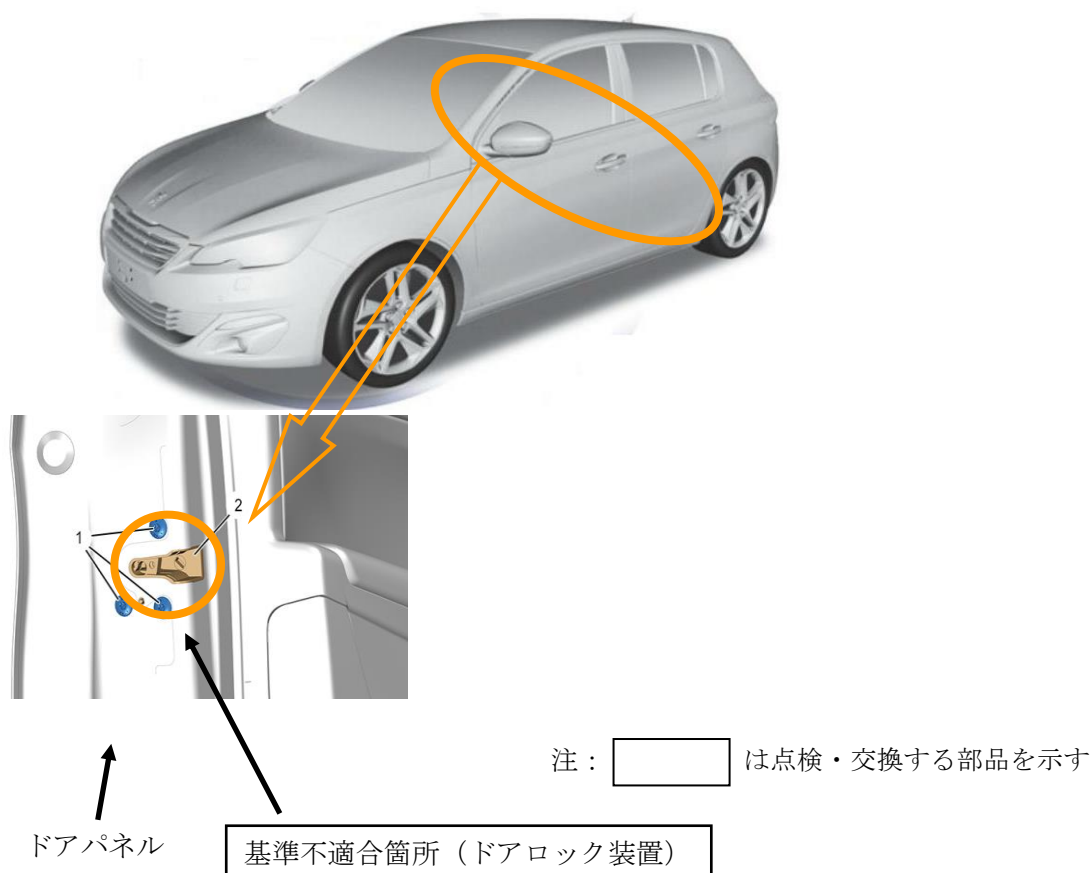
リコール届出日：平成 29 年 5 月 31 日

| | | | |
|----------------------------------|--|--------------------------|-----|
| リコール届出番号 | 外 - 2480 | リコール開始日：平成 29 年 5 月 31 日 | |
| 届出者の氏名又は名称 | プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社 代表取締役 クリストフ プレヴォ (製作国： フランス共和国) (製作者名： オート Mobil・プジョー) (問い合わせ先：0120-840-240 プジョーコール) (製作者名： オート Mobil・シトロエン) (問い合わせ先：0120-55-4106 シトロエンコール) | | |
| 不具合部位 (部品名) | ①乗降口 (ドアロック装置)、②走行装置 (タイヤエアバルブ) ③座席ベルト (シートベルトバックル) | | |
| 基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因 | ① 前席および後席のドアにおいて、ドアロック装置の組付け作業が不適切なため、ロック機構が固着することがある。そのため、ドアの開閉ができなくなったり、走行時の振動によりドアロックが解除し、最悪の場合、走行中にドアが開くおそれがある。 ② 走行装置 (ホイール) において、タイヤエアバルブの組付けの作業指示が不適切なため、当該バルブがホイールに正しく組み付けられていないものがある。そのため、タイヤから空気が漏れ、そのままの状態を使用を続けると、タイヤ空気圧が低下し、警告灯が点灯、または、走行時の振動等によりバルブロックボルトが損傷し、急激にタイヤの空気が抜け、最悪の場合、走行不能となるおそれがある。 ③ 後部座席のシートベルトにおいて、シートベルトバックルを座席に固定する取付金具の製造が不適切なため、当該取付金具の強度が不足しているものがある。そのため、急ブレーキ時または、衝突時の衝撃で取付金具が破断し、適切に乗員が拘束できず、最悪の場合、乗員が過度の傷害を負うおそれがある。 | | |
| 改善措置の内容 | ① 全車両、ドアロック装置を点検し、不具合品が組み付けられているものは良品と交換する。 ② 全車両、タイヤエアバルブを新品と交換し、正しく組み付ける。 ③ 全車両、シートベルトバックルのシリアル番号を確認し、対象のものはシートベルトバックルを良品に交換する。 | | |
| 不具合件数 | 0 件 | 事故の有無 | 0 件 |
| 発見の動機 | 本国からの情報による。 | | |
| 自動車使用者及び自動車分解整備事業者へ周知させるための措置 | <ul style="list-style-type: none"> ● 使用者 : 電話・ダイレクトメールにて通知する。 ● 自動車分解整備事業者 : 日整連発行の機関誌へ掲載する。 ● 対策実施済車両 : 対策済車両には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に外-2480のステッカーを貼付する。 | | |

| 車名 | 型式 | 通称名 | リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び輸入期間 | リコール対象車の台数 | 備考 |
|--------|--------------|---------|--|------------|---------------------------|
| プロジェクト | ABA-T95G05 | 「308」 | VF3L35GNHFS162209～VF3L35GNHGS102029 平成27年9月25日～平成28年5月30日 | 61台 | ① 10台 ② 45台 ①② 6台 |
| | ABA-T9HN02 | | VF3LPHNYW FS210531～VF3LPHNYW FS305453 平成27年10月16日～平成27年12月28日 | 340台 | ① 340台 |
| | ABA-T9WHN02 | | VF3LRHNYWFS212168～VF3LRHNYWFS306095 平成27年10月16日～平成27年12月28日 | 153台 | ① 153台 |
| シロエン | ABA-B785G01 | 「C4t°カ」 | VF73D5GZT FJ787914～VF73D5GZT FJ856190 平成27年10月27日～平成27年12月28日 | 95台 | ① 24台 ①③ 71台 |
| | ABA-B7875G01 | | VF73A5GZT FJ788155～VF73A5GZT FJ865484 平成27年10月27日～平成28年11月11日 | 208台 | ① 55台 ①③153台 |
| 合計 | 計5型式 | 計2車種 | 輸入期間の全体の範囲 平成27年9月25日～平成28年11月11日 | 857台 | ① 812台 ② 51台 ③ 224台 |

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図 ①



不具合の内容

前席および後席のドアにおいて、ドアロック装置の組付け作業が不適切なため、ロック機構が固着することがある。そのため、ドアの開閉ができなくなったり、走行時の振動によりドアロックが解除し、最悪の場合、走行中にドアが開くおそれがある。

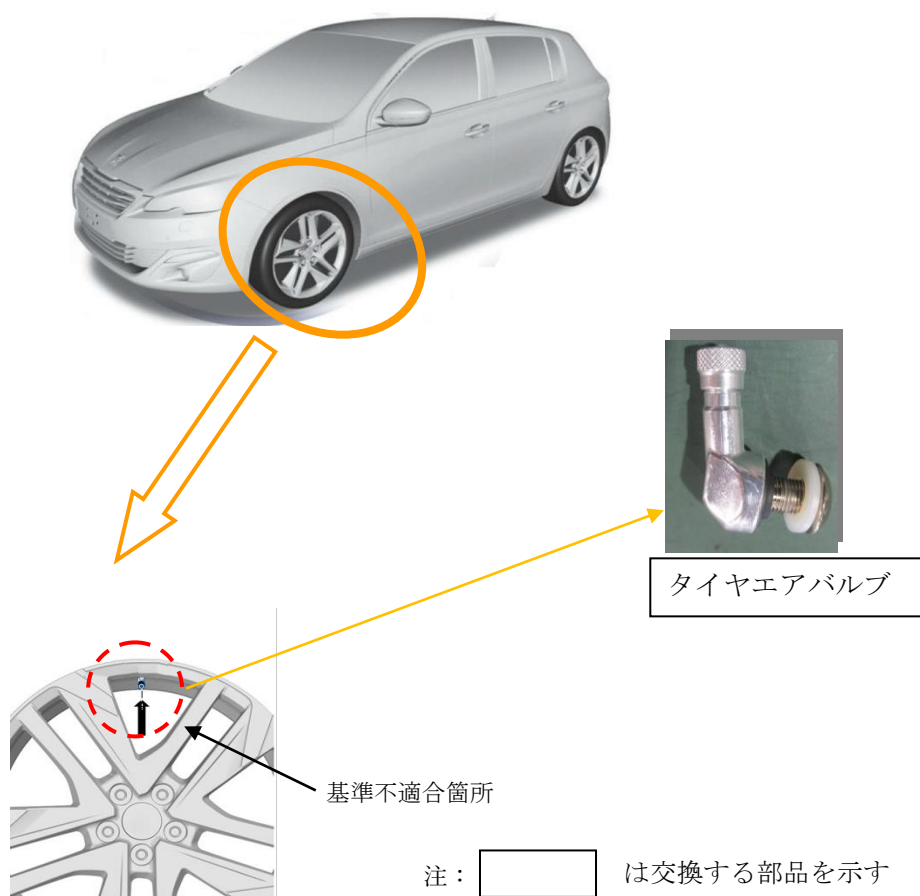
改善措置の内容

全車両、ドアロック装置を点検し、不具合品が組み付けられているものは良品と交換する。

識別

対策済車両には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に外 - 2480 ステッカーを貼付する。

改善箇所説明図 ②



不具合の内容

走行装置（ホイール）において、タイヤエアバルブの組付けの作業指示が不適切なため、当該バルブがホイールに正しく組み付けられていないものがある。そのため、タイヤから空気が漏れ、そのままの状態で使用を続けると、タイヤ空気圧が低下し、警告灯が点灯、または、走行時の振動等によりバルブロックボルトが損傷し、急激にタイヤの空気が抜け、最悪の場合、走行不能となるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、タイヤエアバルブを新品と交換し、正しく組み付ける。

識別

対策済車両には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に外 - 2480 ステッカーを貼付する。